

BATHROOM

2

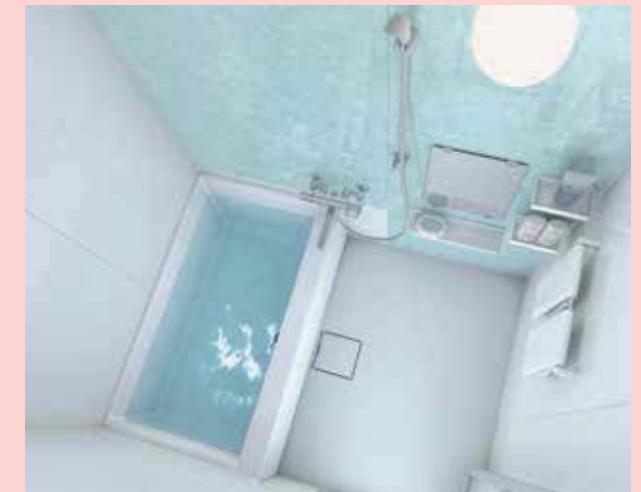
光熱費を削減して快適さアップの浴室リフォーム

浴室もまた、リフォームでよく検討される場所の一つです。最近のトレンドとしてはお風呂のお湯が冷めにくい断熱浴槽や、冬の寒さを解消するための浴室暖房乾燥機、そして節水・節湯でありながら遊び心の良いシャワーヘッド等があり、光熱費削減だけでなく入浴する人の快適性を高めるユニットバスとして進化を続けています。

ユニットバスにも商品グレードがあり、シンプルでリーズナブルなものからデザイン性やお手入れのしやすさといった付加価値の多い高級グレードのものまでありますので、メーカーのショールームやカタログなどでじっくりと浴室本体を見比べておきましょう。

また、ユニットバスには0.75坪、1坪、1.25坪などのサイズが用意されていますが、建物の形状やユニットバスの仕様によって選べるサイズが決まっていますので、設置可能サイズを工事業者によく確認してもらってから本体を選定するようにしたいものです。

マンションにおける浴室リフォームの場合、現在のユニットバスを取り外し、新しいユニットをはめ込み、既存の給排水管接続や給湯管の接続工事を行うのが工事の大きな流れとなります。工事期間は2~3日程度で完了します。この他、新しいユニットバスの設置スペースを広くするために給湯器も一緒に取り換えるケースもありますが、給湯器の設置場所や排気口移設の有無によっては、管理組合等の規約により実施できない工事もありますので、事前に確認しておきましょう。



画像提供元:TOTO(株)

約65万~120万円

※浴室幅1,200mm、奥行き1,600mmの0.75坪サイズのスタンダードグレードのユニットバスによるリフォームを想定。
※給水・給湯管接続工事、排水管接続工事、電気工事、廃材処分費を含む。

STORAGE UNIT

3

収納リフォームでスッキリ&広々空間へ

大画面テレビや録画機器、生活家電や本など、モノを上手に片付けることが居住空間を広く快適に使う上でとても重要です。手当たり次第に収納家具を増やすのではなく、居室空間をスッキリさせてくれるシステム収納にリフォームしてみてはいかがでしょうか。

天井まで活用できる壁面収納ユニットは見た目に統一感があり、スッキリ片付けができる上、突然の来客でも安心です。また家族の趣味などに合わせたユーティリティカウンターなども設置でき、リビング空間をさらに満足度の高いものにしてくれることでしょう。

近頃は下地工事がしやすい収納ユニットが開発されており、従来に比べ設置工事の負担も小さくなってきています。事前の収納プランニングがしっかりとできていれば、工事期間は約1日で済み、設置工事費は7~10万円程度。この他、必要に応じて電気配線工事を追加したり、内装クロス工事を追加したりすれば、リビングの美しさと使い勝手が一気に向上します。大量の本棚として活用することが想定される場合は、荷重を考慮しあらかじめ下地補強工事を見込んでおく方がよいでしょう。



収納ユニット
による
リフォーム
費用相場

約40万~80万円

※洋室12畳における幅3,400mm、高さ2,300mmのリビング収納ユニットを想定(本体価格20万~40万円程度)。
※壁補修工事、収納ユニット設置工事、電気工事、天井・壁のクロス張替え工事を含む。

リフォームしたいご家庭を大募集!

30周年記念プレゼント企画
「あなたの願いをリフォームで叶えます」

次号『OMFIND』はモリモトクオリティの創立30周年を記念した特大号を発行します。一度限りの豪華プレゼント企画として、ご自宅のリフォームを希望するご家庭を大募集。詳細はP12へ。
※今号の記事・執筆者は関係ありません。



執筆者: 大野 光政 (おの のみつまさ)

一級建築士、宅地建物取引士、既存住宅状況調査技術者、建築物環境衛生管理技術者、防犯設備士など建築及び設備に関する資格を多数所持。建築士事務所、不動産会社を経営する傍ら、住宅建築やリフォーム関連の記事を執筆し、情報サイト「All About」では公式ガイドとして、建物や施主のライフスタイルを踏まえたリフォームについて、費用のことや工事の注意点などをわかりやすく紹介している。

リフォームにはこのようないい、有意義に過ごしたいといった思いは誰しもが持っているもの。家族の成長に合わせてライフスタイルが変わるために今までの暮らし方を見直してみることも大切になります。リフォームにはこのようないい、有意義に過ごしたいといった思いは誰しもが持っているもの。家族の成長に合わせてライフスタイルが変わるために今までの暮らし方を見直してみることも大切になります。

リフォームにはこのようないい、有意義に過ごしたいといった思いは誰しもが持っているもの。家族の成長に合わせてライフスタイルが変わるために今までの暮らし方を見直してみることも大切になります。リフォームにはこのようないい、有意義に過ごしたいといった思いは誰しもが持っているもの。家族の成長に合わせてライフスタイルが変わるために今までの暮らし方を見直してみることも大切になります。

SYSTEM KITCHEN

1

システムキッチンの入れ替えで暮らし改善

限られた予算で満足度の高いリフォームを実現するためには「材料費」と「工事費」のバランスを考えることです。今回の例では「材料費」である設備・建品の選定がポイント。カタログなどで詳細をしっかりとチェックしておきましょう。

衣食住のうちの「食」を支えるキッチン空間は実はとても繊細で、その人、家族全員の暮らし方が垣間見えるものです。特に家族みんなが忙しい世帯などでは、食事の度数から片付けまでをいかにスムーズに行うか、そして食事だけでなくキッチンダイニングにおける家族団らんの質をどのように高めていくのかが暮らしの快適化にはとても重要です。

そんな暮らしをサポートするため、最近のシステムキッチンは様々な機能が用意されていますが、各メーカーから発売されているキッチン本体は「エコノミーグレード」「スタンダードグレード」「ハイグレード」というようにランクが設定されており、それぞれ選べるオプションの多さ、収納量、汚れの付きにくさなどに差があります。

古くなったシステムキッチンを新しいキッチンに取

り替える場合、キッチン本体に予算をできるだけ回したいのであれば、現在のキッチンと同じ幅で同じ箇所に設置するプランにすることで、給排水管の移設や電気・ガスの移設が不要になり工事費を抑えることが可能になります。

一般的にシステムキッチンを入れ替えるだけであれば工事期間は2~3日程度であり、比較的のリフォームの中でも取り組みやすい内容であると言えます。キッチン本体はグレードや付属オプションによって価格が上下しますが、幅2,400mmのスタンダードグレード(ビルトイン食器洗い乾燥機付き)であれば、キッチン本体価格は50万円前後から用意されており、これに設置工事費が10万~25万円程度加わると、約60万円からキッチンの入れ替えを検討することができるのです。



画像提供元:クリナップ(株)「ラクエラ」

約60万~100万円

※幅2,400mmのスタンダードグレードキッチン(ビルトイン食器洗い乾燥機付き)の入れ替えを想定。
※既設給排水管接続工事、ガス接続工事、電気工事、廃材処分費を含む。
※キッチンの設置場所を変更する場合は給排水管、ガス管の移設工事、床・壁などの補修工事が別途必要。